

# たんぽぽ

### 主な内容

P1…理事長挨拶

P2…たんぽぽハウスの歩み

P3…今年の出来事

P4…たんぽぽ製品紹介他

e-mail:tanpopo-happy3232@opal.plala.or.jp

## 祝 新施設開所



NPO法人

にしはらたんぽぽハウス

理事長 福永一之 (高遊)



この度、障害者自立支援センターにしはらたんぽぽハウスは、「地域活動支援センターNPO法人にしはらたんぽぽハウス」として新たに役場西側（旧西原中学校寄宿舎）に移転開所の運びとなりました。前身のたんぽぽハウスは、平成17年「バリアのない村づくり」と題して行われた村民参画のワークショップにより旧社会福祉協議会（役場西側）に誕生しました。当時は障害を持った方の集いの場、仕事の場、また、個々の交流が図られたらとの思いの中に開所いたしました。ところが、運営に当たるスタッフも、また利用する側も日々試行錯誤の連続でなかなか自分たちの進む方向性を見いだすことが出来ませんでした。しかし、そこは素人の強み。多くの応援団、ボランティアの方々、村、社会福祉協議会の応援を頂き少しずつではありますが、自分たちの目指すものが見えつつあるような気がします。この度の移転開所に際しましてご協力頂きました県村及び社協を始め多くの応援団、ボランティア、工事関係者の方々、また貴重な浄財を寄付頂いた方々には心よりお礼申し上げます。これからも障害の種類の係わらず地域の交流の場として「あせらず」「いそがず」「あきらめず」をモットーに利用者スタッフ共に頑張つて参りますのでこれからも一層のご支援を宜しく御願ひ申し上げます。



指導員補佐  
原野 亨 (大津)

長年手話の勉強をしています。手話を通じて聴覚に障害を持つておられるかたと地域の方との交流の架け橋になれたらと思います。たんぽぽハウスの仲間達の笑顔を見るのが一番の喜びです。



指導員  
東田 英子 (布田)

たんぽぽハウスにお世話になり、早2年4ヶ月。いろんな勉強や体験をさせてもらい少しは人間的に大きくなったかなと思います。平成21年度より新たに地域活動支援センターと名を改め新しい事業に取り組みます。期待と不安でいっぱいですが、仲間達と一生懸命頑張りたいと思います。



施設長  
上村加代子 (小野)

地域活動支援センター発足と共に「たんぽぽハウス」の一員として共に働き共に学ぶことになりました。心の癒しの場として誰もが気軽に立ち寄れる「あつたかい家」に仲間達と協力して作り上げていきたいと思っています。

## スタッフ紹介

# たんぽぽ活動報告1月～3月

## 長らくラジオに生出演！冬明かりに参加

平成21年1月26日、R  
KKラジオ「とんでるワイド  
大田黒浩一の今日も元氣！」  
の中でミミー号が、冬明かり  
用キャンドルの準備中だっ  
たたんぽぽハウスを取材に  
来ました。突然の取材にビツ  
クリしていたのですが、ラジ  
オということもありみんな  
楽しそうに取材を受けてい  
ました。その後、ラジオを聞  
いたたんぽぽのお友達から  
メールや電話を頂きました。  
意外と聞いてくれている人  
がいて感激でした。



1月31日、2月1日の2  
日間、西原村馬頭山において  
「冬明かり」が行われまし  
た。たんぽぽハウスとして参  
加するようになって今回で  
3回目。凍てつく寒さの中  
の出店は厳しいものがあり  
ますが、みんな笑顔で頑張り  
ました。今年は、お好み焼き  
を販売し、2日間とも大好評  
を得ました。お好み焼きの具  
材を入れるためのフォーメ  
ーション「お好み隊」の順番  
に具材を入れていく様子も  
洗練されてきて、もう、みん  
なプロの顔でした。



僕たちが噂のお好み隊！

## のぎく祭り



2月22日、のぎく祭りに参加さ  
せて頂きました。バザーでは焼きそ  
ばとみたらし団子、たんぽぽ製品を  
販売。大好評の焼きそばはお昼頃  
には完売しました。午後からは、「た  
んぽぽ&山西小ボランティアサー  
クルによる合唱団」で「上を向いて  
歩こう」「ふるさと」の2曲を手話  
を交えて歌いました。



## 6年生を送る会



3月6日、山西小学校から案内  
を受け「6年生を送る会」に参加  
させて頂きました。6年生とたん  
ぽぽハウスは何度となく交流を  
重ねてきていましたので、たんぽ  
ぽ特製「ありがとう」しおりを持  
って伺いました。生徒さん達によ  
る劇や歌など感動的で涙する場  
面もありました。

## お引越



3月25日、西原中  
学校生徒会の呼びかけ  
で多くの西原中の生徒  
さんが引越しのお手  
伝いに来てくれまし  
た。旧たんぽぽハウス  
から新たんぽぽハウス  
まで、重い機材などの  
運び出しや、新たんぽ  
ぽハウスの清掃など遅  
れていた引越し準備  
があつと言う間に片付  
き本当に助かりまし  
た。西原中学校の皆さ  
ん、有難うございま  
した。



# にしはらたんぽぽハウスこれまでの歩み

平成16年から西原村社会福祉協議会において県の縁側事業による補助金を利用してワークショップが開かれました。地域住民の方40名程に集まって頂き「心づくり」「仕事づくり」「場所づくり」について話し合われました。



西原村には、はらっばの家（知的に障害のある方）・アミーゴハウス（身体に障害のある方）・なかまの会（精神に障害のある方）・はらっばクラブ（障害児をもつ親の会）の4つの団体がありました。それを一つにして西原村民で応援していこうと「にしはらたんぽぽハウス」が結成されました。



場所づくりでは、なかなか作業所に適した場所が無く、旧万徳保育園や門出保育園、寄宿舎や中央公民館、旧社協跡などいろいろなところを見て回った結果、旧社協跡に決まり、ボランティアさんの協力によって作業所ができあがりました。



平成17年6月12日、旧社協後にてたんぽぽハウスの開所式が行われました。通所者6名、指導員1名で「障害者自立支援センターにしはらたんぽぽハウス」として本格的にスタートしました。



仕事づくりでは、アルミ缶・新聞紙回収、お祭りでの出店、小野の棚田で自然農法でのお米作り・大豆作り、縫製品などのオリジナル製品作りなどボランティアの協力の下少しずつ取り組み始めました。



保育園、小学校、中学校の生徒さん達との交流が始まり、作業のお手伝いや、手話教室、運動会でのバザーなど心温まる交流が続いています。



たんぽぽハウスでは、各地区の夏祭りや運動会、イベントなどでのバザーに取り組んでいます。通所者へ少しでも賃金をアップさせたいとの思いからでしたが、沢山の方との温かい交流はそれ以上に得るもの大きい仕事となっています。



平成20年9月、NPO法人を取得。たんぽぽハウスで加工食品を作っていきたいという念願が叶い、平成21年4月、加工場を伴った新たんぽぽハウスが完成。4月26日、新たんぽぽハウスの開所式を迎えることが出来ました。



# たんぽぽ製品のご紹介

お問い合わせはたんぽぽハウスまで



無農薬 玉緑茶  
100g 700円



棚田 自然米  
1kg 700円



謹製黄金羊羹  
500g 800円



きな粉 (きび砂糖入り)  
80g入り 300円



ピーナッツ和えの素  
20g×4袋 350円

## 「夕飯お助け便」始めました。



たんぽぽハウスでは、週1回木曜日に自宅までお届けする「夕飯お助け便」を企画しました。お忙しい方に喜ばれる内容になっております。※セットは4人前です。

(セット例左：手作りコロッケ・春キャベツ・春菊・ピーナッツ和えの素・のっぺ汁用カット野菜・カットネギ) **会費は月5,000円。**たんぽぽ自慢の手作りお総菜が入って、下処理を済ませてすぐ仕える様にしたカット野菜等週替わりでお届けいたします。お得感を感じる内容にしていきます。詳しくはたんぽぽハウス (TEL 096-279-3666) まで。  
※配達は西原村内に限ります。取りに来て頂けるか、3セット以上であれば村外の配達もさせていただきます。

## 編集後記



たんぽぽハウスでは応援団員を募集しております。年会費は千円です。たんぽぽハウスが発行する「ゆるっと」(年4回)をお届けいたします。また、たんぽぽ特製麦味噌・林檎梅など会員のみ販売も沢山用意いたします。たんぽぽハウスにいつでも気軽に遊びに来てください。そして、仲間とお米作りや野菜作り、お味噌造りなど一緒にやってみませんか？自然の中で共に働き、共に学びあう、そんなたんぽぽハウスを目指しています。

お問い合わせ先  
NPO法人  
にしはらたんぽぽハウスまで。  
TEL 096-279-3666

## 平成21年度行事予定 (4月～7月)

月日	行 事
4月	新作業所開所式・加工品づくり 野菜植え・リハビリ教室・パン作り 高遊窯バザー・たんぽぽハウス総会
5月	連休バザー・西原中学校体育祭バザー 種まき・御茶摘み・田植え準備 甘藷植え・リハビリ教室・クッキー作り
6月	一般作業・田植え・野菜植え 剣山づくり・出張喫茶店・リハビリ教室 水彩画・たんぽぽ杯ミニバレーボール大会
7月	バザー・お中元商品取りまとめ 小・中学校ワークキャンプ・一般作業 大豆種まき